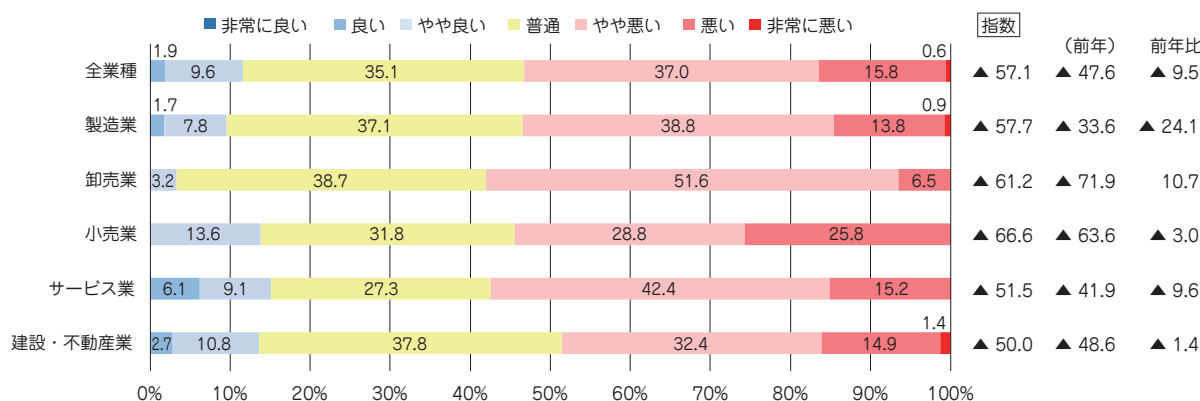
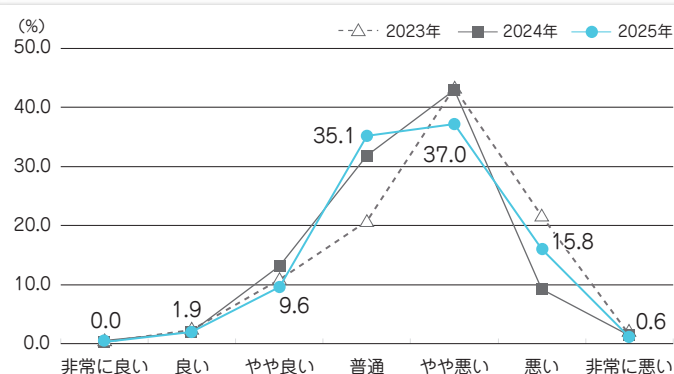


1 日本の景気見通し

2025年の日本の景気見通しについては、「良くなる」との回答（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）は11.5%、「普通」は35.1%、「悪くなる」との回答（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）は53.4%と、半数超が悪化を見込む。

業種別にみると、建設・不動産業以外では過半数が「悪くなる」と回答。卸売業では「良くなる」との回答がわずか3.2%となった。

独自に算出した指数は、卸売業では昨年と比べ改善したもの、その他の業種は悪化。特に製造業が大幅に悪化した。



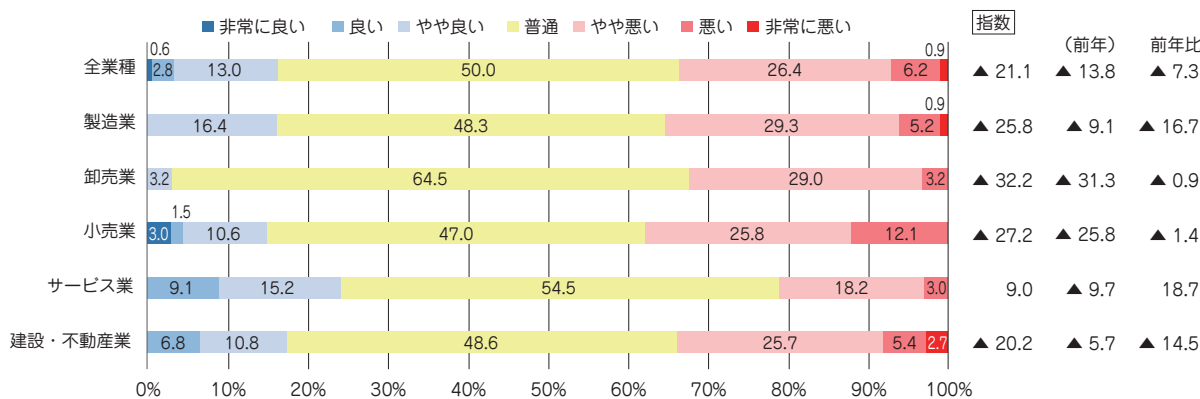
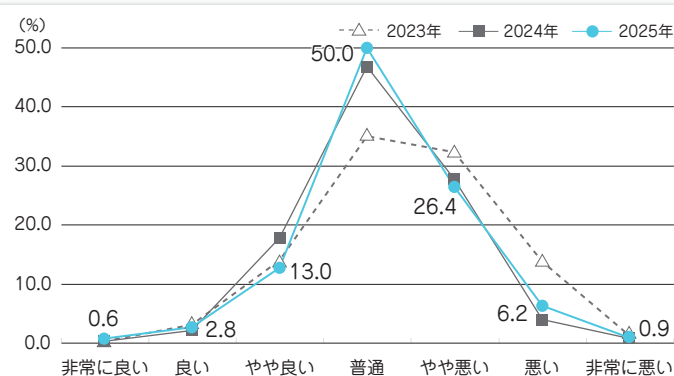
注) 指数の算出方法：(非常に良い×3) + (良い×2) + (やや良い×1) - (やや悪い×1) - (悪い×2) - (非常に悪い×3)

2 個別企業の業況見通し

2025年の個別企業の業況見通しについては、「良くなる」との回答（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）は16.4%、「悪くなる」との回答（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）は33.5%となった。半数が「普通」と回答。

ほとんどの業種が「悪くなる」が「良くなる」を上回るなか、サービス業では「良くなる」が24.3%と、「悪くなる」21.2%をわずかに上回った。

独自に算出した指数は、サービス業は昨年より大幅に改善しプラスとなったが、その他の業種では悪化しマイナスが継続。



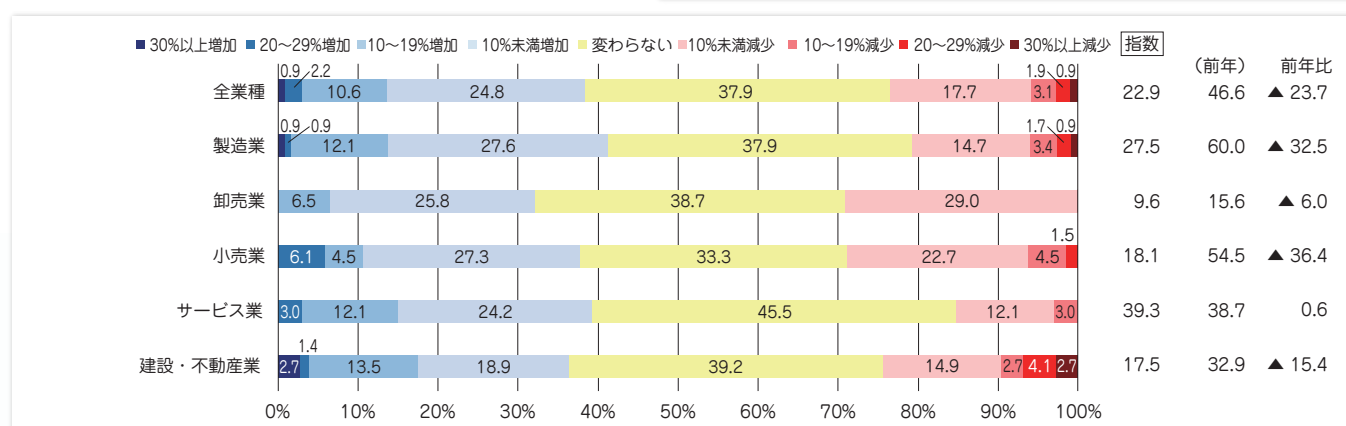
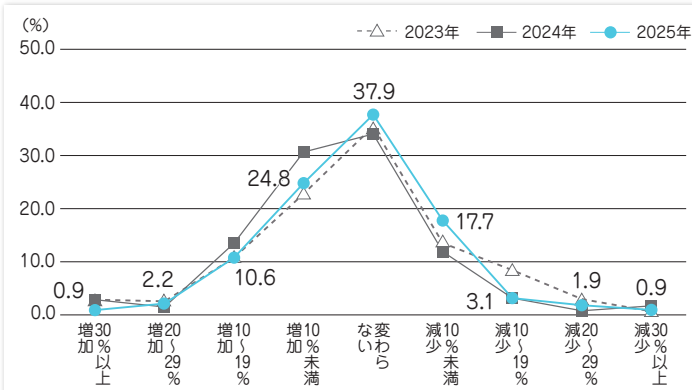
注) 指数の算出方法：(非常に良い×3) + (良い×2) + (やや良い×1) - (やや悪い×1) - (悪い×2) - (非常に悪い×3)

3 売上額の伸び率見通し

売上額の伸び率の見通しについては、「増加」が38.5%と最も多く、「変わらない」が37.9%、「減少」が23.6%となった。昨年の調査と比べると、「増加」は10.1ポイント減少し、「減少」は6.3ポイント、「変わらない」は3.8ポイント増加。

業種別では、製造業、小売業は「増加」が最も多く、卸売業、サービス業、建設・不動産業では「変わらない」が最も多い。

独自に算出した指数は、全業種でプラスの見通し。サービス業は昨年比でわずかに改善した一方で、その他の業種は悪化した。

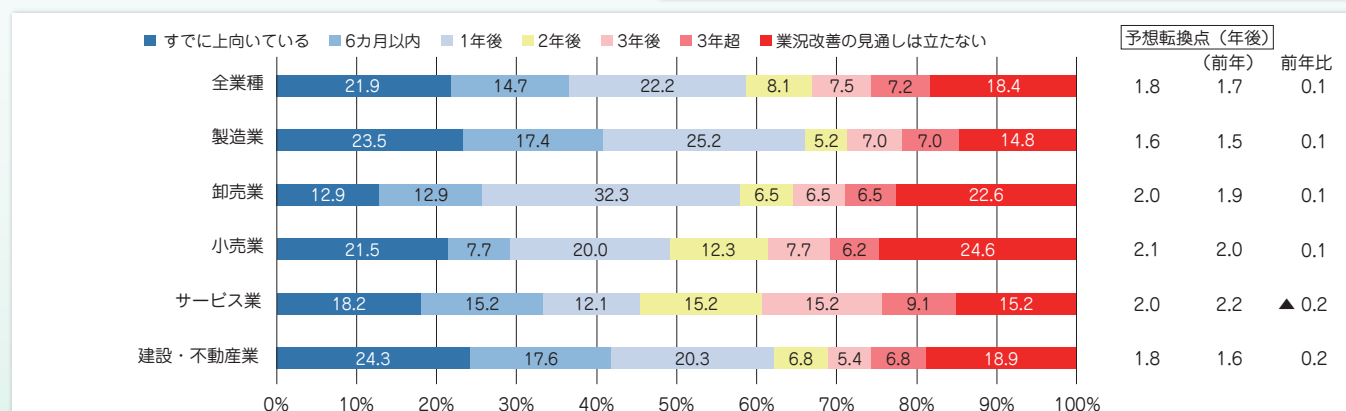
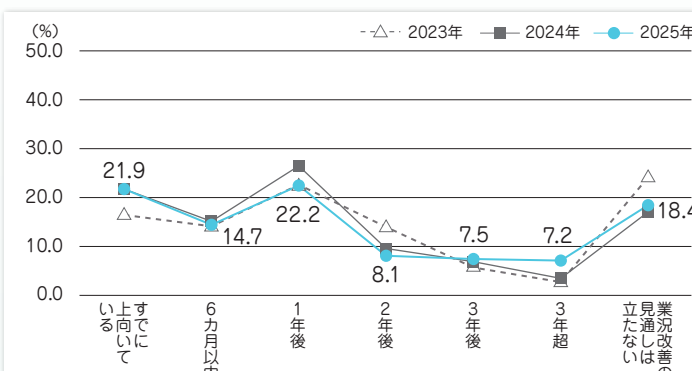


注) 指数の算出方法: $(30\%以上増加 \times 4) + (20 \sim 29\%増加 \times 3) + (10 \sim 19\%増加 \times 2) + (10\%未満増加 \times 1) - (10\%未満減少 \times 1) - (10 \sim 19\%減少 \times 2) - (20 \sim 29\%減少 \times 3) - (30\%以上減少 \times 4)$

4 業況が上向く転換点

自社の業況が上向く転換点については、「1年後」が22.2%と最も多く、次いで「すでに上向いている」が21.9%、「6カ月以内」が14.7%。約6割の企業が1年後までに業況が上向くと考え一方で、「業況改善の見通しは立たない」が18.4%と依然多い。

独自に予想転換点を算出したところ、全業種の予想転換点は1.8年後で、昨年の調査より0.1年遅くなった。業種別では、製造業が1.6年後と最も早い。一方で最も遅かったのは小売業で2.1年後。サービス業は昨年比で0.2年早くなった。



注) 予想転換点の算出方法: $(すでに上向いている \times 0) + (6\text{カ月以内} \times 0.5) + (1\text{年後} \times 1) + (2\text{年後} \times 2) + (3\text{年後} \times 3) + (3\text{年超} \times 4) + (\text{業況改善の見通しは立たない} \times 5)$

5 脱炭素化への取組みについて

信用金庫業界に期待する取組みは、「事例の紹介」「行政からの支援内容の紹介」「設備導入支援」が多くなっている。情報を求めている事業者が多いことがうかがえる。

信用金庫業界の取組みは過半数の事業者が「知らない」という状況が浮き彫りとなった。

下欄に当金庫の支援内容を紹介するのでご覧ください。

脱炭素化に向けた取組みの事例

情報提供：コスト削減事例の紹介、行政からの支援内容の紹介

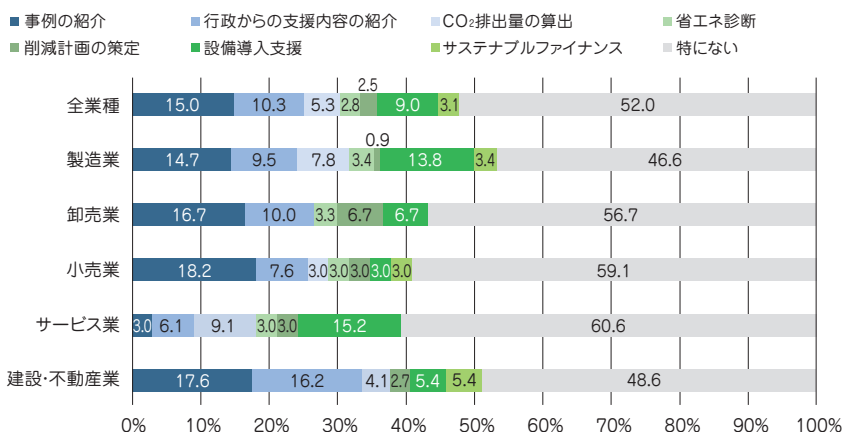
現状把握：CO₂排出量の算出サービスの紹介

計画策定：省エネ診断の紹介、CO₂排出量削減計画の策定支援

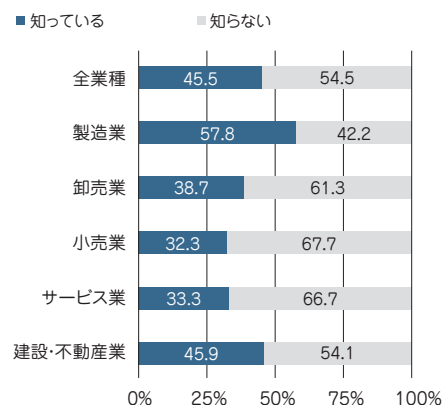
対策実行：LED・高効率空調・太陽光発電の導入支援

資金供給：サステナブルファイナンス(SDGs・脱炭素化対応融資)

1. 脱炭素化に向けて、信用金庫業界に対して期待する取組みはありますか。



2. 信用金庫業界が地域のために積極的に上記の取組みを行っていることを知っていますか。



<調査概要>

対象企業 当金庫取引先企業 322社
 調査期間 2024年 12月2日～6日
 調査方法 当金庫担当者訪問によるWEBアンケート形式
 (四半期ごとに実施する「へきしん取引先景況調査」の特別調査として実施)

へきしんはカーボンニュートラルに取り組むための支援メニューをご用意しています

地域に大きな影響を及ぼす環境問題の解決のため、当金庫はお客さまに最適なお提案をし、カーボンニュートラルに向けた取組みのサポートを行うことで、地域の脱炭素化に貢献いたします。

① 知る

カーボンニュートラルとは何か、取り組むメリットや必要性についてご案内します。

- カーボンニュートラルに関する各種セミナー

② 測る

カーボンニュートラルに取り組む手始めとして自社のCO₂排出量を把握し、削減に向けた計画をたてるための支援をいたします。

【ビジネスマッチング】

- CO₂排出量算定および目標設定
- CO₂排出量削減に向けたロードマップ策定
- 省エネ診断

③ 減らす

お客さまに合ったCO₂排出量を減らすためのさまざまな方法や自社の強みとするための提案をいたします。

【ビジネスマッチング】

- 太陽光発電設備導入
- SBT認定取得
- 高効率設備導入
- LED照明導入
- CO₂フリー電気導入
- 補助金申請支援

【ファイナンス】

- SLL
- PIF

ご支援メニューは費用が発生いたします。詳しくはお近くの店舗にお問い合わせください。